

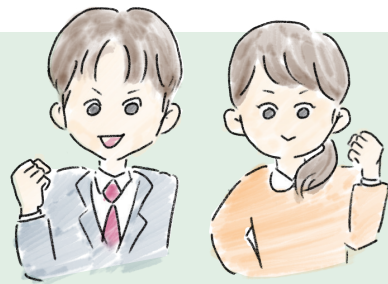
人材育成ビジョン

パーパス

“職員・組織の存在意義”

子どもの虐待防止に関わる全ての職員と組織が最も重視すべきもの

過去の事例を風化させない



未然防止を含めた支援に努める

あらゆる虐待から子どもを守る



ビジョン

“目標とする職員像” 職員が「パーパス」を実現するために必要な3つの姿勢

当事者の立場で考える姿勢

協働の視点

専門性と高い使命感



ミッション

“職員行動指針”

「ビジョン」を実現する具体的な行動

1 子どもを中心とした当事者尊重と共感的理解

- ・子どもの声
- ・支援全体の過程で当事者の立場に立つ

2 協働による支援の実践

- ・支援を重ね合う

3 専門性の獲得

- ・学び続ける



バリュー

“組織としての責務”

「ビジョン」を実現するために必要な職員個人の取組に対する組織の支援

1 対人援助業務に対する組織的支援

- ・対人援助の重視
- ・スーパーバイズ

2 協働の組織文化の醸成

- ・自らの組織の枠にとらわれない

3 専門性の高い組織の形成

- ・学ぶ姿勢を後押し

